

## 第1課

## 人们能彻底掌握双母语吗？

2つの母語を完璧にマスターできますか

## 1. 本文

トラック01

现代的父母非常期待自己的孩子能掌握至少两门语言，而且期待这两门语言都能达到母语的程度。这样的期待现实可行吗？我的答案是不现实，不可行。

联合国教科文组织给母语下的定义是：母语是指一个人自幼习得的语言，通常是指其思维和交流的工具。而我觉得这个定义还太笼统。我觉得其定义应该增加内容如下：母语是胎儿在母亲子宫里就感受到的母体语言，是婴儿自出生到之后的许多年与母亲亲密交流并运用的语言。是这个孩童一生中最能运用自如的准确表达自己思想感情的沟通工具。也是这个孩童周围的许多人都共同使用的语言。母语当然也一定会成为这个人一辈子的文化归属。

从这个定义上来看：人，只有一个孕育自己生命的母亲，即生母。那么，人的母语也只能有一个。除了生母之外，人在成长的过程中，可以有一个甚至几个养母，也就是说：人这一辈子除了母语，还可以掌握几门外语。但是它们都不是母语，母语只能有一个。

当然如果一个婴儿从小被抱养，那么他与养母之间的沟通交流的语言以及他与周围人沟通交流的语言就会成为他

的母语。

那么如何定义一个会说几种语言的人呢？我认为语言的运用者分为三类：

1. 母语运用者 (Native Speaker)
2. 近似母语运用者 (Native Like Speaker)
3. 外语运用者 (Foreign Language Speaker)

所以一个人如果会说几门语言的话，一定有一门是母语(母语永远是水平最高的)。有一门是近似母语 / 第一外语(即说话人的外语水平几乎接近母语)。其它以下的程度的语言则属于第二外语和第三外语。

而母语就好像 头脑语言中枢的基柱→语言的基础和顶梁柱。所以母语没有学好的人，因为语言中枢的母语的基础不牢，基柱不高，不结实，那么他的其它的外语也学不好。比如：如果一个人的母语水平是 硕士水平，那么近似母语的第一外语大概能达到大学水平，第二和第三外语则是高中和初中水平。以此类推，如果一个人的母语水平是大学水平，那么他的近似母语(第一外语)基本上是高中水平。第二和第三外语差不多是初中或小学水平。还有一点，一个人所掌握的第一外语并不一定能够达到近似母语的水平。也许它只达到了第二外语和第三外语的水平。

下面我把母语、近似母语和外语的语言级别程度以及可以达到的水平分别归总如下。

- ① 母语 (10级)→自由运用、措置裕如、无可取代
- ② 近似母语 (9级)→外语语言学博士、外语大学教授、副教授、同声传译、文学作品的翻译
- ③ 近似母语 (8级)→外语语言学硕士，外语大学讲师，专业翻译(口译、笔译)
- ④ 外语 (7级)→外语学士、语言教师、公司主管
- ⑤ 外语 (6级)→导游、餐厅主管
- ⑥ 外语 (5级)→餐厅服务员、售货员
- ⑦ 外语 (4级)→日常会话、购物、旅游
- ⑧ 外语 (3级)→不流畅的会话
- ⑨ 外语 (2级)→只言片语
- ⑩ 外语 (1级)→寒暄用语

人们在测试自己的外语水平和实力的时候，就可以用以上的分数阶梯来对照参考。

那么什么样的学习外语的方法可以让人们在短短几年之内就把外语学到近似母语8级或9级的水平呢？

在后面的主题会话里，我会向大家介绍中国外语大学的事半功倍的教学方法。

## 2. 新しい単語

## トラック 02

1. 联合国教科文组织 [名詞] ユネスコ  
 ◆ 联合国教科文组织是一个大的国际机构。 ユネスコは大きな国際機構です。
2. 笼统 [形容詞] 大まかな、曖昧な  
 ◆ 你讲得太笼统了，不容易懂。 あなたの話は大まか過ぎるので、分かりにくいです。
3. 归属 [動詞] 帰属する、精神的に帰属する  
 ◆ 有些人在外国定居后，脱离了母国文化，没有了归属感。 外国に定住すると、母国の文化から離れてしまい、帰属意識がなくなる人がある。
4. 孕育 [動詞] 育む  
 ◆ 阳光普照大地，大地孕育万物。 陽の光が大地をあまねく照らし、大地が万物を育む。
5. 抱养 [動詞] 養子をもらい育てる
6. 母语运用者 [名詞] 母語話者
7. 近似母语运用者 [名詞] 準母語話者
8. 外语运用者 [名詞] 外国語話者
9. 基柱 [名詞] 基礎と柱
10. 顶梁柱 [名詞] 大黒柱  
 ◆ 家里失去了顶梁柱，一家人生活顿时陷入困境。 一家の大黒柱を失って、生活はたちまち苦境に陥った。
11. 语言中枢 [名詞] 言語中枢  
 ◆ 中枢神经紊乱。 中枢神経が乱れる。
12. 硕士 [名詞] 修士号

- ◆ 现在有硕士学位的人越来越多了。 今は修士号を持つ人がだんだん増えてきた。
13. 以此类推 [四字熟語] そこから類推すると
14. 措置裕如 [四字熟語] 余裕を持ち、思い通りに処置する  
 ◆ 做一件事情能够措置裕如，说明做事的人经验丰富并达到了高超的水平。 余裕を持って思い通りに物事を処理できるということは、その人が経験豊富で高いレベルに達していることを示している。
15. 无可取代 [四字熟語] かけがえのない  
 ◆ 父母的存在是无可取代的。 両親はかけがえのない存在です。
16. 只言片语 [名詞] 片言、わずかな言葉
17. 寒暄用语 [名詞] 挨拶用語
18. 测试 [動詞] テストをする、(性能の)測定をする  
 ◆ 电动扶梯还在测试的阶段。 エスカレーターはまだ試運転の段階です。
19. 阶梯 [名詞] ステップ、階段
20. 对照 [動詞] 比べてみる、対比する  
 ◆ 对照来看 比べてみると
21. 近似母语 [名詞] 準母語

## 3. 訳文

## 2つの母語を完璧にマスターできますか

現代の親は子供が少なくとも2か国語を習得し、しかもどちらとも母語レベルにまで上達してほしいと望んでいます。これは現実的で可能なことでしょうか？私は、非現実的で不可能だと思います。

ユネスコは母語を「幼少期から習得した言語で、通常は思考とコミュニケーションのツールとなるものを指す」と定義しています。しかし私はこの定義では曖昧

過ぎると思います。その定義には次のような内容を追加するべきでしょう。「母語とは、胎児が母親の子宮の中で感じる母体の言語であり、赤ん坊が生まれてからの長い年月、母親との親密な関わり合いにおいて使われる言語である。それは子供が一生において最も自由自在に活用でき、自分の気持ちを正確に表現できるコミュニケーションツールであり、またその子供の周囲の多くの人が使う共通の言語でもある」。母語はもちろんその子供が一生涯帰属する文化にもなるに違いありません。

この定義から、人にとって自分の命を育んでくれた母親はただ一人、すなわち生母だけであり、従って母語も一つしか存在しません。成長の過程において生母以外に一人、ひいては複数の義理の母親がいる場合もあります。つまり、人は一生の間に母語以外に数か国語をマスターすることも可能ですが、それらは母語ではありません。母語は一つしかないのです。

もちろん幼い頃から養父母に育てられた赤ん坊にとっては、養母やその周囲の人たちとのコミュニケーションツールとしての言葉が母語となります。では複数の言語を話せる人は、どう定義されるでしょうか？ 話者は以下の3つのカテゴリーに分けられると考えます。

1. 母語話者 (Native Speaker)
2. 準母語話者 (Native Like Speaker)
3. 外国語話者 (Foreign Language Speaker)

ある人が数か国語を話せるとしたら、そのうちの一つは必ず母語(母語は常に最高レベル)であり、一つは準母語 / 第一外国語(すなわち話者の外国語のレベルはほぼ母語に近い)です。それ以下のレベルの言語は第二外国語、第三外国語に属します。

しかし母語は脳の言語中枢の根幹→言語の基礎であり中心となる大黒柱のようなものです。従って、母語をきちんと身につけていなければ、言語中枢の母語の基礎は不安定で、支えの柱も十分な高さがなく、脆いことになり、他の外国語も上達しません。例えば、ある人の母語が修士レベルだとすると、準母語である第一外国語はほぼ大学レベルに達し、第二、第三外国語は高校、中学レベルになります。同様に、ある人の母語が大学レベルなら、準母語(第一外国語)は基本的に高校レベルに達し、第二、第三外国語は大体、中学か小学校レベルになるでしょう。もう一つのポイントは、習得した第一外国語が必ずしも準母語レベルに達するとは限らないということです。場合によっては、せいぜい第二、第三外国語レベルかもしれません。

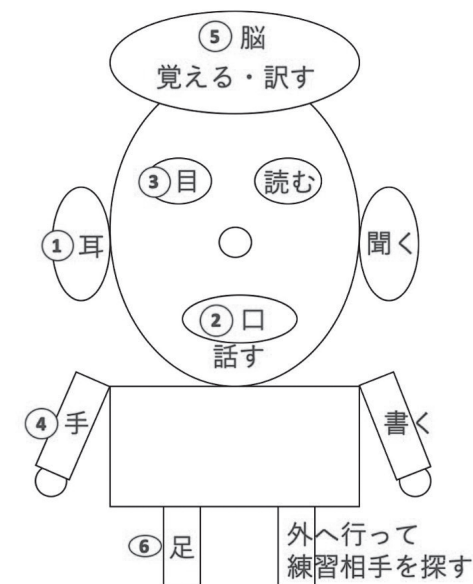
私は母語、準母語、外国語のそれぞれのランク及び到達可能なレベルを以下のようにまとめました。

- ① 母語 (10級)→自由自在に思い通りに使え、他の言語では代用できない
- ② 準母語 (9級)→外国語言語学博士、外国語大学教授、副教授、同時通訳、文学作品の翻訳家
- ③ 準母語 (8級)→外国語言語学修士、外国語大学講師、プロの通訳・翻訳家
- ④ 外国語 (7級)→外国語学学士、外国語教師、会社の主管者
- ⑤ 外国語 (6級)→旅行ガイド、レストランの責任者
- ⑥ 外国語 (5級)→レストランの店員、商店の販売員
- ⑦ 外国語 (4級)→日常会話、買物、観光
- ⑧ 外国語 (3級)→流暢ではない会話
- ⑨ 外国語 (2級)→片言会話、つたない会話
- ⑩ 外国語 (1級)→挨拶程度

外国語のレベルと実力を測る際には、このランク表が参考になります。

ではどのような学習方法であれば、わずか数年で外国語を準母語8級や9級のレベルまで上達させることができるのでしょうか？

次のトピック会話で中国の外国語大学の労力の倍の効果的な教授法と学習法を紹介します。



## 4. 文型と慣用句

トラック 03

## 1. 通常是指…/通常は…を指す

△「鉄粉」通常是指铁杆儿粉丝，也就是非常坚决地支持自己偶像的人。

/「鉄粉」は通常、熱烈なファンを指し、好きなアイドルを一心に応援する人のことを言います。

△ 中医的「气血不通」通常是指一个人的血液循环不好，也包括气血不足。

/ 中国医学でいうところの「気血不通」とは、通常は血液の循環が悪いことを指し、それには体内の生氣や血液が不足することも含まれます。

△ 中医的「上火了」通常是指人体阴阳失调。比如由于内脏缺水或劳累而造成的内脏温度升高，口干舌燥等。

/ 中国医学でいうところの「上火了」(のぼせる)とは通常は体の陰陽のバランスが崩れることを指します。内臓の水分不足や疲労からくる内臓温度の上昇、口の乾きなどの症状があります。

解釈 1 「通常是指」の後にはセンテンスを置きます。

## 2. 也许…/…かも知れません

△ 再过几百年，地球人移居太空也许就会轻而易举了。

/ あと数百年も経てば、人は地球から宇宙へ気軽に移住するようになるかも知れません。

△ 他因为公司生意失败，遭受了重大的打击，也许不能东山再起了。

/ 彼は会社で商売に失敗して、大きなダメージを受けたので、もう再起はできないかもしれません。

解釈 2 「也许」はセンテンスの前や述語の前に置き、事柄の不明確性を表します。

## 5. 会話

トピック会話 1

トラック 04

## 幼儿借助母语理解外语

(幼兒は母語を通じて外国語を理解する)

A. 赵老师，听说您的三个女儿都会说三国语言，在培养她们学习外语的过程中，您有什么心得体会吗？

B. 关于「幼儿学外语的最早适宜年龄」以及步骤和方法，我在《本気で学ぶ中級中国語》的第七课里已经讲过了。除此之外，我印象最深的就是：女儿们在幼儿的时候就尝试用母语来理解外语了。

比如：我的大女儿，她5岁之前在中国长大，她的母语是中文。

5岁多的时候，去日本定居，她进了日本的幼儿园。在完全100%的日语环境里，她很快就能用日语应对幼儿园的交流了。但是，当她想对某些词句的意思进行彻底的了解的时候，她就会询问这个词的中文意思。比如她手里拿着一个很小的玩具。她脱口而出说了一句日语：“これは本当に小さいですね！”然后她马上就问我：“妈妈，‘これは本当に小さいですね。’是什么意思？”其实她知道日语句子的意思，因为她拿着小玩具时所说的日语就是“这个真的很小！”的意思，她的语言表达与实物相符。其实她是在问：“日语句子‘これは本当に小さいですね。’的中文意思是什么。”